

盧生之夢其以何日

亥春 新鑄



盧生之夢其以何日

京傳戲作
通油町鳥屋板

不憎
不憎

下

へ13
2946
36



寛政三辛亥年

盧生夢魂其前日 三冊

鯨政傳書作

2946
36

市川の園十郎でいせいの
のさるあはハヤとてし海申
いりりせすす葉冊のさるううにゆめがさひ
と云つたあふのうするもやうにねるうぬのさるうもや
あううある記をまゝの縁てわししく書けゆくがうかち
ちめうれあはしきいらぬめあひといはれりや
あまうぬが夢うあううしひしりううが夢う
あま世うあう。林夢ううき世う。鳴呼。狂子。やう
子ヤン子ヤント爾云

よめあえうんと
あまうまの床
正月二日のあ

山東京傳述



一 涼の夢大坂の夢
 一 式乃々々
 一 地獄極楽のゆめ
 一 式乃々々
 一 富見徳のゆめ
 一 式乃々々
 一 和漢吉凶の夢
 一 式道具
 一 佛神活ゆめ
 一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い



一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い

一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い

一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い



一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い

一 式乃々々のすりホ
 一 式乃々々の仕い







竹田の中きめ
 人のゆい
 竹田の中きめ
 人のゆい

お花

江戸のきりぎりすのさけりくすの
 夢のまへにゆきゆくま

夢のまへにゆきゆくま
 夢のまへにゆきゆくま
 夢のまへにゆきゆくま



このまきせうのしんせうの
 夢のまへにゆきゆくま

夢のまへにゆきゆくま
 夢のまへにゆきゆくま







周礼の禮記の日月星辰をりてし夢の吉凶

いづれ

正夢三
五喜夢六
六懼夢これ
その外平ちきこめの内平ち

これいづれ
いづれ
いづれ

いづれ
いづれ
いづれ

いづれ
いづれ
いづれ

いづれ
いづれ
いづれ







十二



十一



十四

京傳作



これより

あめりか

そのあめの

ほこ

さや

しん

しん

しん

しん

しん

しん

しん

しん

しん

しん

京傳

わんてあすの

おんてあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

あすのあすの

明治三十九年八月八日改装之

京傳

